

## 山口県道路行政マネジメント研究会

ご意見・お問い合わせ

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

〒747-8585  
山口県防府市国街1丁目10番20号  
TEL(0835)22-1785 FAX(0835)23-8973

ホームページアドレス  
<http://www.yamaguchi-mlit.go.jp/>

山口県 土木建築部 道路建設課

〒753-8501  
山口県山口市滝町1番1号  
TEL(083)933-3714 FAX(083)933-3719

ホームページアドレス  
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/doro-k/index.htm>



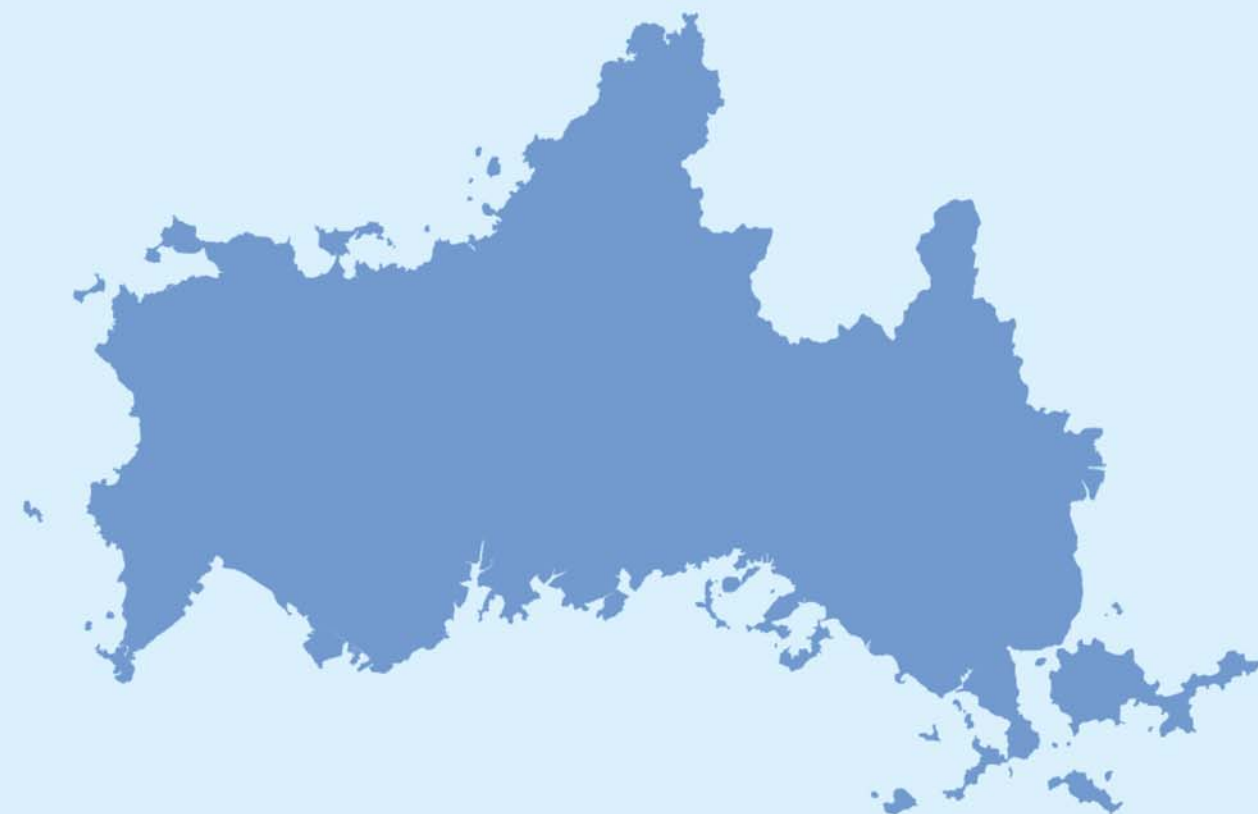
前年度の業績計画は、「平成16年度 山口県の業績計画書」でご覧いただけます。  
※詳しくは左記ホームページをご覧ください。

関連ホームページ

山口河川国道事務所 道路IRサイト  
<http://www.yamaguchi-mlit.go.jp/ir/>

国土交通省 道路局 道路IRサイト  
<http://www.mlit.go.jp/road/ir/>

# 山口県の道路行政マネジメント 山口県の達成度報告書



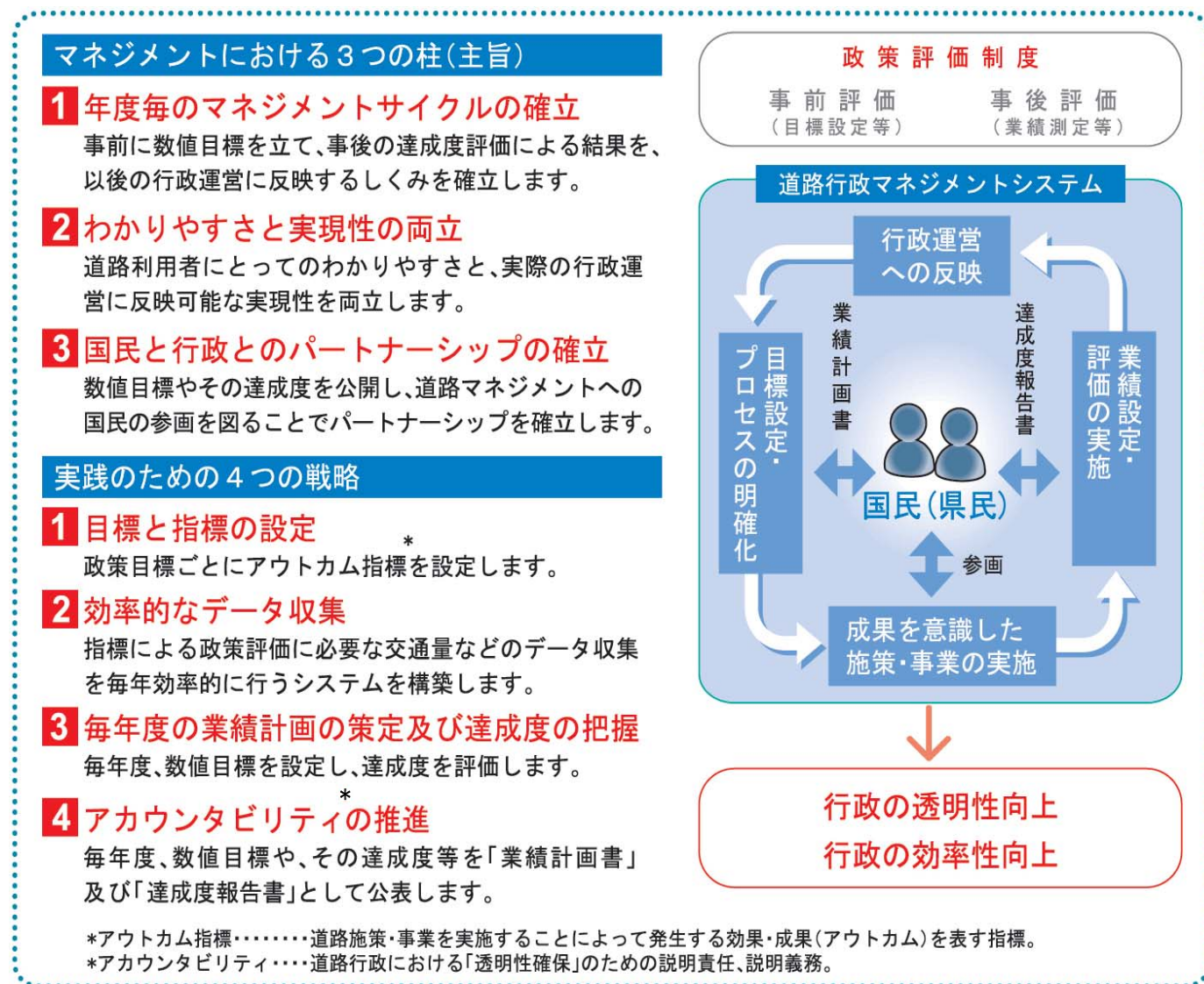
平成16年度

山口県道路行政マネジメント研究会

## 「成果志向の道路行政マネジメント」に取り組んでいます。

「成果志向の道路行政マネジメント」を実現するための3つの柱と4つの戦略

より透明性の高い、効果的かつ効率的な道路行政運営へ転換していくために、3つの柱と4つの戦略を掲げ、国民の視点から見た「成果志向の道路行政マネジメント」の実現に取り組んでいます。



各地域の道路行政マネジメント推進においては、地域特性やニーズに応じた即地性追求と、公共事業における成果主義徹底のため、国と地方公共団体等の連携を図った取り組みを行っています。

全国同様、アウトカム指標によって地域における施策・事業の妥当性を明らかにし、年度毎に業績計画書や達成度報告書のかたちで取りまとめて公表しています。

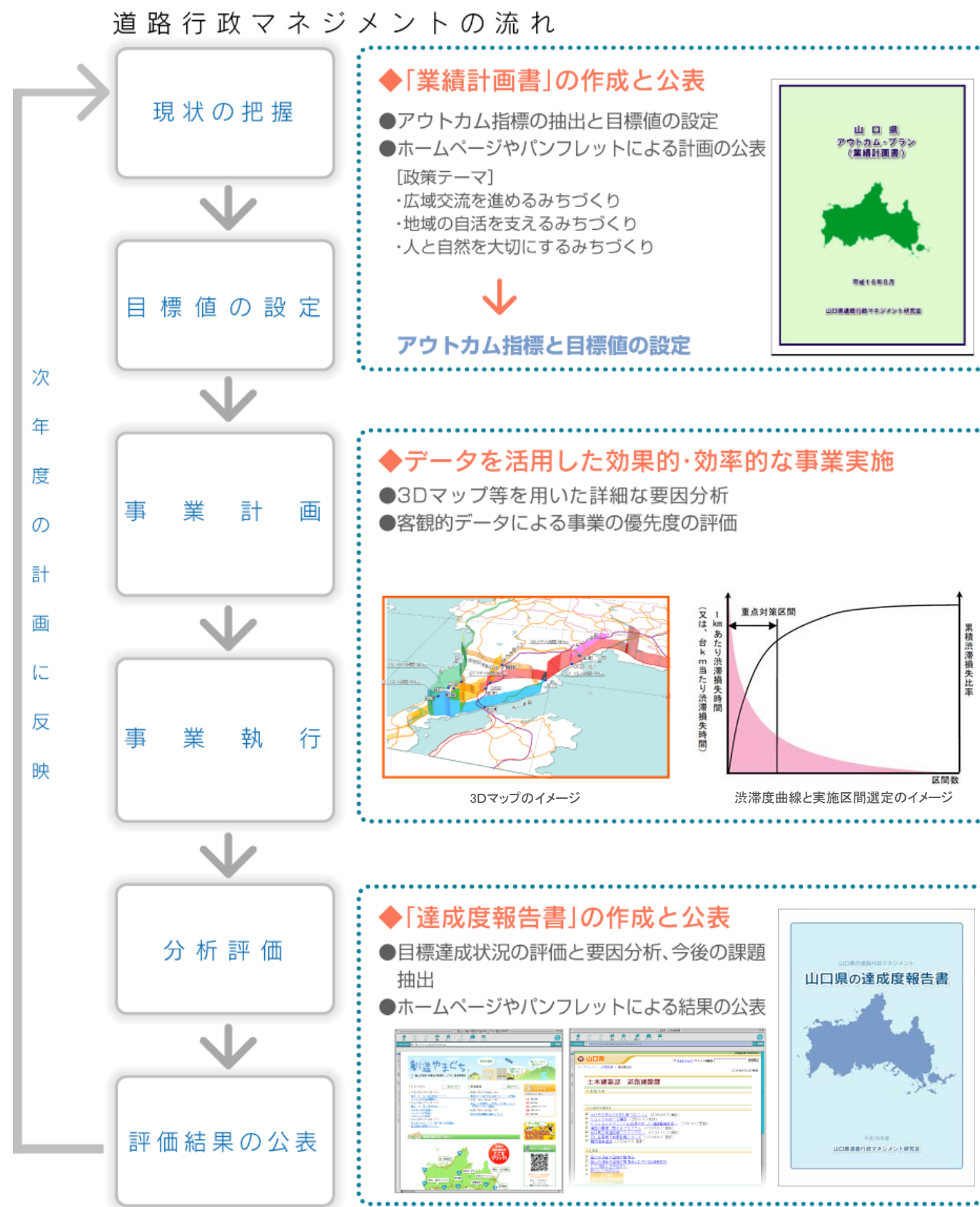


## 山口県における「道路行政マネジメント」への取り組み

成果・進捗の見える透明性の高い道路行政を目指します

山口県の道路行政マネジメントは、平成15年度にスタートした全国レベルでの取り組みを受けて、平成16年度から始まりました。

山口県の地域課題に対応したアウトカム指標の設定により、透明性の高い効率的な事業実施に取り組みます。また、年度毎に、目標値の達成状況を公表するとともに、業績分析や評価結果を今後の事業計画に反映することで、効率的な道路行政マネジメントを実施します。





## ■平成16年度のアウトカム指標

政策テーマに対応した11のアウトカム指標を抽出

平成16年度山口県業績計画書（アウトカムプラン）では、地域の特性や道路整備の課題をもとに、山口県の道路整備計画（JOY ROAD PLAN）に示された3つの政策テーマに対応した11のアウトカム指標（達成される成果を示す指標）を抽出し、平成19年度までの長期目標と平成16年度の目標値を設定しています。

### 地域の特性や課題の抽出

山口県の道路整備計画（JOY ROAD PLAN）における課題抽出



- 求められる透明性、説明責任
- 高速道路網の整備が求められる山陰地域
- 山陰地域と山陽地域の連絡強化
- 渋滞対策が求められる山陽地域
- 中山間地域の道路整備
- 地域づくりの支援
- 交通の難所の解消、緊急輸送路の確保
- 高齢者、障害者に対する道路整備
- 交通安全対策の推進
- 補修・更新の必要な施設の増加

平成16年度山口県業績計画書（アウトカムプラン）における課題抽出



- 渋滞対策が求められる山陽地域
- 災害時における道路の信頼性向上
- 円滑な地域間交流の支援
- 歩行者にやさしい道路整備
- 流通機能向上のための道路整備
- 事故発生を抑制するための道路整備

### 政策テーマに応じたアウトカム指標の抽出

広域交流を進める  
みちづくり

地域の自活を支える  
みちづくり

人と自然を大切に  
する  
みちづくり

～交流指標～

- 空港1時間圏人口カバー率
- 新幹線駅30分圏人口カバー率
- 中枢都市2時間圏人口カバー率
- 高速IC30分圏人口カバー率

～走行性指標～

- 渋滞損失金額
- 工業団地等からICへの流通ルート確保率
- 隣接市町村間連絡ルート確保率
- 要防災対策箇所解消率

～安全性指標～

- CO<sub>2</sub>排出量（自動車交通）
- 歩道設置率
- 事故率

## ■平成16年度目標値の達成状況

5つのアウトカム指標の目標を達成、1つが未達成

平成16年度は、5つのアウトカム指標について平成16年度の目標を達成することができました。一方、「要防災対策箇所解消率」については、平成16年度の目標値を達成することができませんでした。

	アウトカム指標	平成15年度実績値	平成16年度		平成19年度目標値	達成／未達成	平成16年度の主な供用事業
			目標値	実績値			
広域交流を進めるみちづくり	空港1時間圏人口カバー率 空港まで1時間以内でアクセス可能な地域に住んでいる人の割合。	62%	-	62%	63%	-	
	新幹線駅30分圏人口カバー率 新幹線駅まで30分以内で到達可能な地域に住んでいる人の割合。	70%	-	70%	71%	-	
	中枢都市2時間圏人口カバー率 中枢都市である広島市または福岡市まで、2時間以内で到達可能な地域に住んでいる人の割合。	77%	-	77%	78%	-	
	高速IC30分圏人口カバー率 高速道路のインターチェンジまで、30分以内でアクセス可能な地域に住んでいる人の割合。	90%	-	90%	94%	-	
地域の自活を支えるみちづくり	渋滞損失金額 渋滞のない場合の所要時間と実際の所要時間の差を費用換算したもので、渋滞の実態を数量的に表したもの。	※1 1390 億円/年	1389 億円/年 (0.1%削減)	1317 億円/年 (5.3%削減)	1251 億円/年 (10%削減)	達成	国道2号花岡拡幅
	工業団地等からICへの流通ルート確保率 ICとの流通ルートが二車線以上の道路で結ばれている工業団地の割合。	84.8%	86.1%	86.1%	86.1%	達成	(一)湯ノ口美祢線(美祢市曾根～大嶺)
	隣接市町村間連絡ルート確保率 「山口県の新しい道路整備計画」において位置付けられている市町村間連絡ルートを対象に、二車線以上で結ばれている市町村数（平成16年6月時点）の割合。	68.6%	68.6%	70.2%	77.0%	達成	国道434号徳山錦バイパス(一部供用) (主)徳山本郷線(美川町小壁～本郷町) (主)大島環状線(周防大島町日見)
	要防災対策箇所解消率 平成8年道路防災点検において要防災対策箇所として指定を受けた箇所の解消割合。	19.6%	21.0%	20.7%	向上に努める	未達成	(一)篠目地福上線(阿東町大野) 国道434号徳山錦バイパス(一部供用)
人と自然を大切に するみちづくり	CO <sub>2</sub> 排出量（自動車交通） ※2 山口県内の道路交通に関する年間の燃料消費により算出したCO <sub>2</sub> の排出量。	※3 320 万t-CO <sub>2</sub> /年	削減に努める	※4 351 万t-CO <sub>2</sub> /年	300 万t-CO <sub>2</sub> /年		国道2号花岡拡幅の供用等により削減に努めています。
	歩道設置率 県道以上の総延長に対する歩道設置延長の割合。	39.8%	40.2%	40.4%	42.0%	達成	国道2号花岡拡幅・宇部市吉見、玖珂町八幡町下、周東町西長野(歩道設置) 国道435号美祢豊田バイパス(一部供用)・山口市吉敷 (一)三田尻港徳地線(防府市真尾)
	事故率 交通量および延長（走行台キロ）に対する事故件数の多さ。	102.6 件/億台キロ	削減に努める	99.9 件/億台キロ	削減に努める	達成	国道435号(美東町大田) (主)宇部船木線(宇部市大森)

1 平成15年度プローブデータ（車載器からモバイルデータ通信により収集される車両の位置、速度等の情報）をもとに再算定  
2 山口県環境白書における公表値  
3 平成11年実績値  
4 平成13年実績値（最新公表データ）



## ■ 広域交流を進めるみちづくり

山口県に住むどのくらいの人が、快適に交通結節点や中枢都市にアクセスできるか？

空港1時間圏人口カバー率	H16実績値 62%	[人口カバー率(%)=カバー圏の人口/山口県の人口]  交通結節点や近隣の中核都市まで一定時間内でアクセス可能な地域に住んでいる人の割合。
新幹線駅30分圏人口カバー率	H16実績値 70%	
中枢都市2時間圏人口カバー率	H16実績値 77%	
高速IC30分圏人口カバー率	H16実績値 90%	

### 平成16年度の主な事業

「分散型の都市構造」を持つ山口県では、広域的な交流・連携を強化する道路ネットワークの整備が重要な課題となっています。高速ICや新幹線駅、空港等へのアクセス性は、特に山陰地域や中山間地域において不足しています。このため、「山陰自動車道」の延伸や「地域高規格道路 小郡萩道路」など、陰陽を結ぶ道路ネットワークの整備を進めています。

#### □整備事例:国道191号 萩・三隅道路

自然災害による通行規制が発生しやすい国道191号を補完するとともに、広域交流の促進、地域の活性化に寄与することを目的に、整備を推進しています。

平成16年度は、飯井地区、明石地区の改良を促進し、三隅IC～明石IC区間での進捗率は、平成15年度の54%から平成16年度は70%に向上しました。

#### □整備事例:地域高規格道路 小郡萩道路

小郡町と萩市を結び、中国縦貫自動車道等と連結することにより高速道路ネットワークを形成することを目的に、地域高規格道路として整備を推進しています。

美東IC～絵堂IC区間での進捗率は、平成15年度の45%から平成16年度は56%に向上しました。



主な事業の進捗状況と高速IC30分圏

## ■ 地域の自活を支えるみちづくり

渋滞によって、どのくらいの損失があるのか？

### 渋滞損失金額

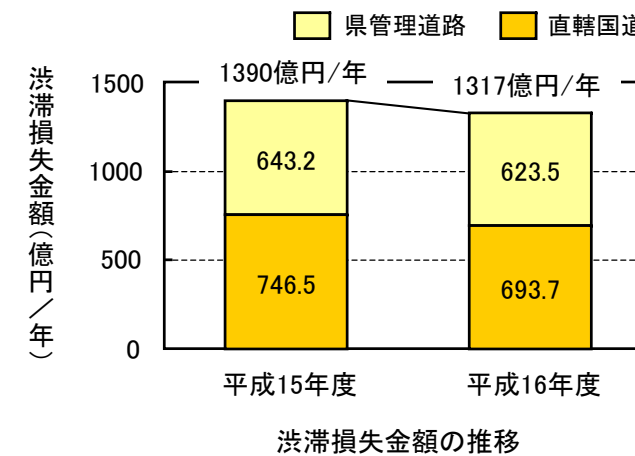
[渋滞損失時間(人・時間)=損失時間×交通量×1台あたりの平均乗車人数×時間価値]

渋滞のない場合の所要時間と実際の所要時間の差(損失時間)を費用換算したもので、渋滞の実態を数量的に表したものだ。

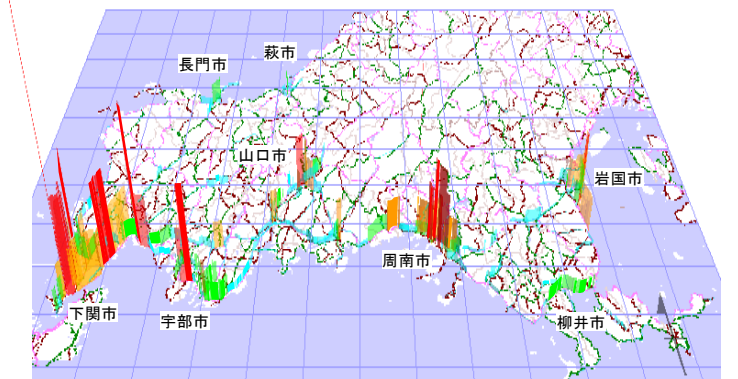
H16目標値	1389 億円/年
H16実績値	1317 億円/年 (達成)

### 平成16年度目標値の達成状況

平成16年度の「渋滞損失金額」の実績値は1,317億円/年で、目標であった1,389億円/年を達成しました。平成15年度の実績値(1,390億円/年)に対する削減額は73億円/年(5.3%)で、内訳は、直轄国道が53億円/年、県管理道路が20億円/年でした。



渋滞損失金額の推移



渋滞損失額3Dマップ(平成16年度)

### 平成16年度の主な事業

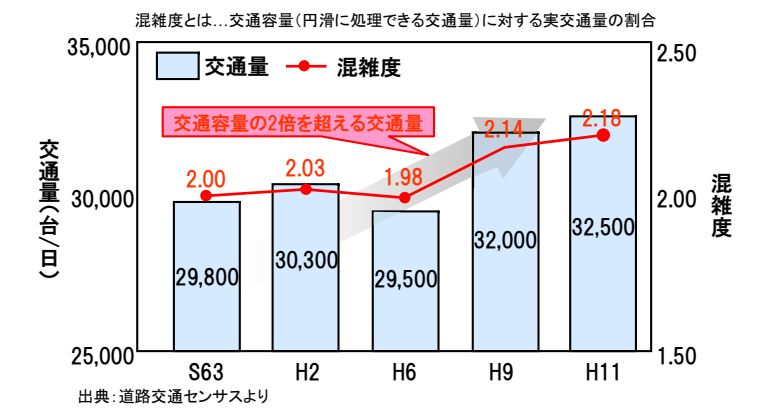
#### □国道2号花岡拡幅

##### (1)供用前の状況

国道2号下松市切山～山田の約2.4kmの区間は、2車線道路で3万台/日を超える交通量があり、朝夕のピーク時間帯に著しい渋滞が発生していました。このため、二ノ瀬交差点は、「山口県の第4次渋滞対策プログラム」における主要渋滞ポイントに指定されていました。



二ノ瀬交差点の状況(バイパス供用前)



二ノ瀬交差点付近の交通量の推移



**(2)事業の概要と効果**

国道2号花岡拡幅は、国道2号下松市内の渋滞緩和や安全性の向上等を目的とした道路拡幅とバイパス整備からなる延長7.1kmの道路整備事業です。

平成10年までに約4.7kmの4車線拡幅整備を行いました。

残りの2車線区間の渋滞対策が課題でしたが、平成17年3月のバイパス整備(L=2.4km)により、渋滞が解消し、区間全体の旅行速度が向上しました。

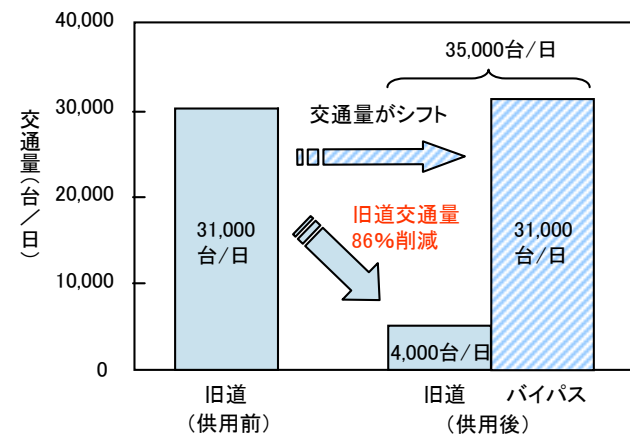
今回供用区間の平均旅行速度は40.0km/hから51.8km/hに向上し、事業区間全体の朝のピーク時間帯の所要時間は11分から9分に短縮されました。

また、主要渋滞ポイントであった二ノ瀬交差点では、(主)下松田布施線の最大渋滞長が300mから50mに、最大通過時間が5分から2分に改善され、渋滞が解消されました。

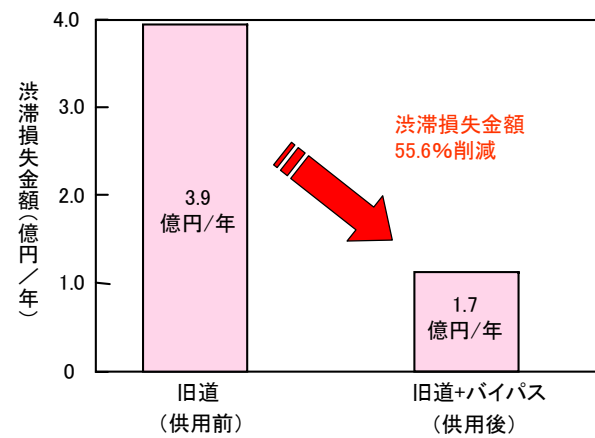


供用前後の平均旅行速度(平日)

バイパス供用により、旧道部の交通量は約9割減少し、走行性の高いバイパスへ転換しました。その結果、主要渋滞ポイントであった二ノ瀬交差点の渋滞が解消し、旧道とバイパスをあわせた渋滞損失金額が約2.2億円/年(55.6%)削減されました。



交通量の転換状況(平日)



渋滞損失金額の変化



バイパス部の状況



旧道部の状況(二ノ瀬交差点)

交差点通過に最大5分かかっていた渋滞が解消されました。

**トピックス**

**山陽自動車道料金割引実験について(平成16年10月~11月実施)**

**1.実験の目的と概要**

周南・防府市内には大規模な工場が多く、通勤の車や市内を通過する車などにより、交通渋滞が深刻な問題となっています。このため、高速道路料金を割り引くことにより、国道2号等を利用している車を高速道路に誘導し、一般道路の渋滞等の問題を解決する可能性について調査しました。

**実験概要**

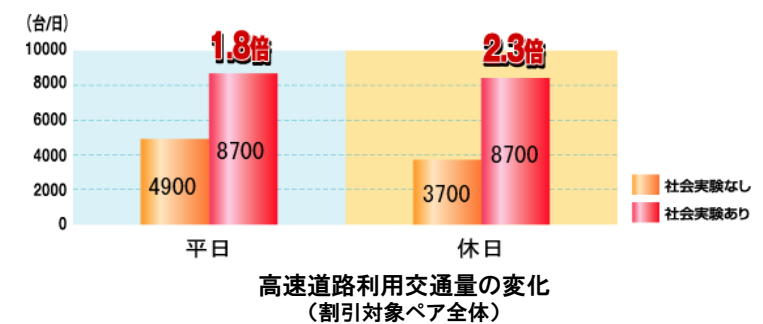
料金割引区間：防府東IC～熊毛IC  
 割引時刻金：約5割引  
 例) 防府東～熊毛の普通車は1,300円から650円に割り引き  
 割引対象車種：全車種  
 割引時間：終日  
 割引期間：2ヶ月間



**2.実験の結果**

**(1)高速道路利用交通量の増加**

割引対象ペア(防府東IC～熊毛IC)の交通量は、通常時に比べて約2倍に増加しました。また、平日・休日別では、平日が1.8倍、休日が2.3倍と休日の方が増加率が高くなっています。



高速道路利用交通量の変化(割引対象ペア全体)

**(2)一般道路交通量の減少と誘発交通量の発現**

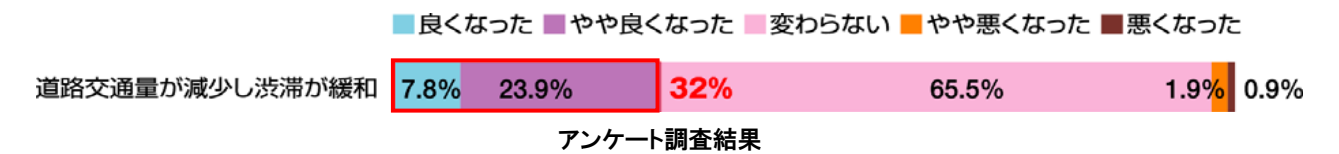
山陽道と国道2号を合わせた断面交通量は、割引対象区間で600台/日程度増加しており、実験に伴う誘発交通(断面量に対して約1%の誘発率)が見られます。また、平日の国道2号交通量の減少量は約800台/日前後であり、国道2号の交通量の約2%程度が山陽道へ転換しているものと考えられますが、大幅な渋滞解消効果は見られませんでした。

**(3)渋滞緩和効果**

戸田交差点は最大渋滞長はほとんど変化しませんでした。一方、三田川交差点では最大渋滞長が3,100m 2,000mと、約1km減少しました。

**(4)一般道路や周辺道路への効果・影響(アンケート結果)**

アンケート結果では、32%の人が渋滞緩和に効果があると回答しています。(回答者数 804人)



アンケート調査結果

地域の自活を支えるみちづくり

地域の自活を支えるみちづくり



## ■地域の自活を支えるみちづくり

工業団地のどのくらいがICにスムーズにアクセスできるか？

### 工業団地等からICへの流通ルート確保率

〔工業団地からICへの流通ルート確保率(%)=ICへの流通ルートが確保されている工業団地数/全工業団地数〕

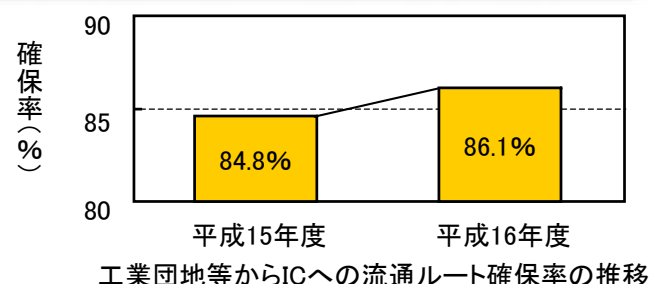
ICとの流通ルートが二車線以上の道路で結ばれている工業団地の割合。

H16目標値 86.1%

H16実績値 86.1%  
(達成)

平成16年度目標値の達成状況

県道湯ノ口美祢線の供用により、平成16年度の「工業団地等からICへの流通ルート確保率」は、目標としていた86.1%を達成しました。

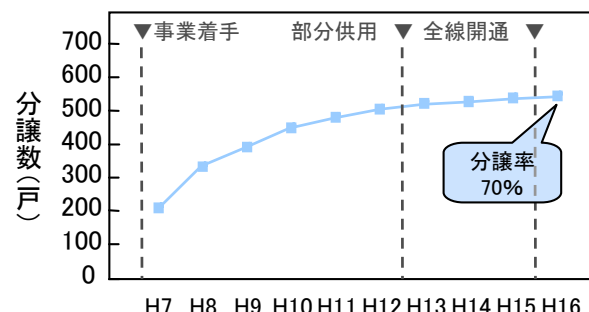
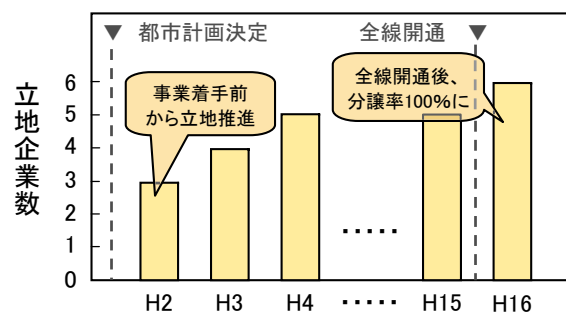


平成16年度主な事業

#### 県道湯ノ口美祢線

美祢ニュータウン「来福台」や「美祢工業団地」と国道316号までの間には、幅員狭小区間や線形不良区間が残されており、安全で円滑な交通の確保や輸送性の向上が課題となっていました。

県道湯ノ口美祢線の供用により、美祢工業団地から中国縦貫自動車道美祢ICへの物流ルートが確保され、美祢工業団地への企業立地が進み、平成16年の全線開通後に工業団地が完売しました。また、美祢ニュータウン「来福台」へのアクセス性が向上したことにより、一般住宅の分譲数は順調に推移し、平成16年には70%に達しています。



## ■地域の自活を支えるみちづくり

要防災対策箇所解消率の推移

要防災対策箇所はどのくらい解消されているのか？

### 要防災対策箇所解消率

〔要防災対策箇所解消率(%)=要防災対策箇所のうち対策を完了した箇所数/要防災対策箇所総数〕

平成8年道路防災点検において要防災対策箇所として指定を受けた箇所数の解消割合。

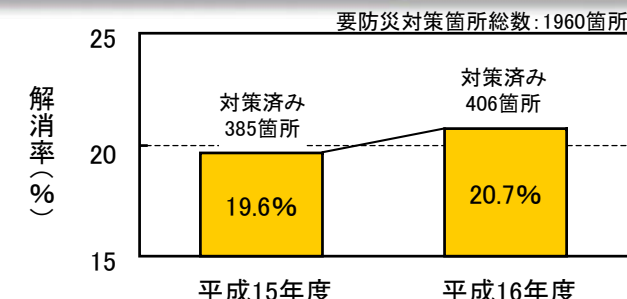
H16目標値 21.0%

H16実績値 20.7%  
(未達成)

平成16年度目標値の達成状況

平成16年度の「要防災対策箇所解消率」は19.6%から20.7%に向上したものの、現地の状況に応じた工法変更等により工事期間が延長した箇所があったため、目標とする21.0%を達成することはできませんでした。

今後は、引き続き、未完了箇所の早期の完了を目指すとともに、緊急性の高い対策箇所や緊急輸送道路などの重要性の高い路線について重点的な整備を行っていきます。



要防災対策箇所解消率の推移  
平成16年度未現在に施工中の10箇所が完成すると、要防災対策箇所解消率は21.2%になります。

平成16年度主な事業

#### 国道2号(周南市富田地区)

法面崩落の危険性が高まったため、土質条件にあった安定勾配で切り土を行い、表土の風化防止のための法面緑化を実施しました。



#### 県道岩国玖珂線(岩国市二軒屋)

法面の崩落、落石等を防止するため、吹付砕石工法、擁壁及びストンガード等による対策を実施しました。



#### 緊急輸送道路とは...

大規模な災害が起きた場合における避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範な応急対策活動を実施するため、非常事態に対応した交通の確保を図ることを目的として、重要な路線を緊急輸送道路として定めています。





# ■人と自然を大切にするみちづくり

山口県の道路ではどの程度のCO<sub>2</sub>が排出されているか？

## CO<sub>2</sub>排出量(自動車交通)

山口県内の道路交通に関する年間の燃料消費により算出したCO<sub>2</sub>の排出量。

H16目標値

削減に努める

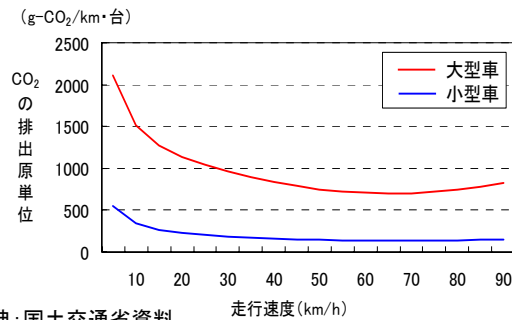
H16実績値

**351**  
万t-CO<sub>2</sub>/年  
※平成13年度値

平成16年度目標値の達成状況

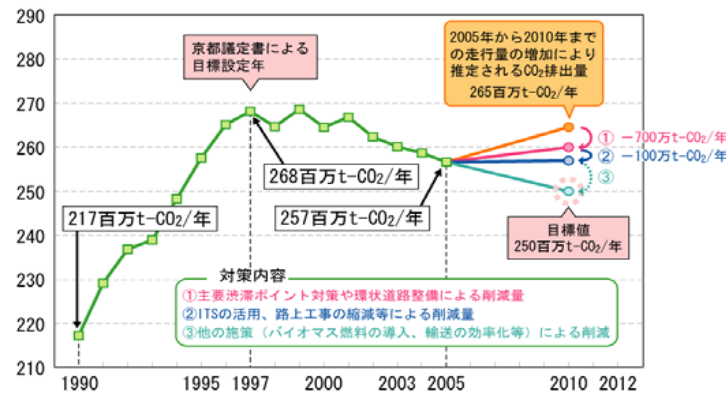
主要なCO<sub>2</sub>の排出要因である都市部の渋滞緩和に向けて、国道2号花岡拡幅(バイパス区間)の供用など、道路ネットワークの整備を推進しています。

全国の運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量は、1997年(平成9年度)をピークに減少傾向にあります。



出典: 国土交通省資料

CO<sub>2</sub>排出量と走行速度との関係



※2004~2005年のCO<sub>2</sub>排出量は1999~2003年のトレンドより推計  
出典: 地球温暖化のための道路政策会議資料

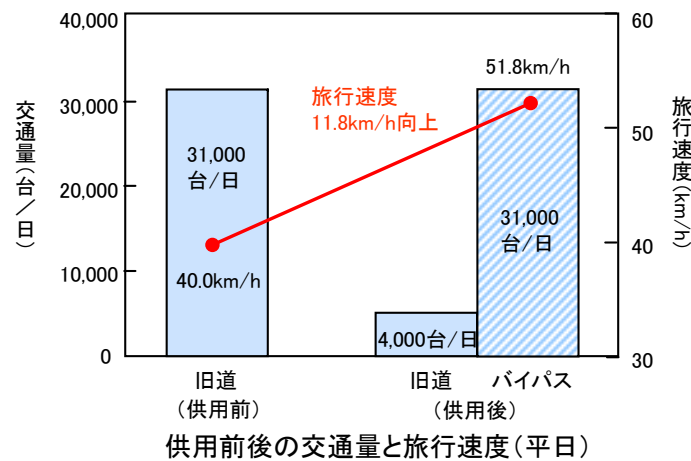
運輸部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減目標

平成16年度主な事業

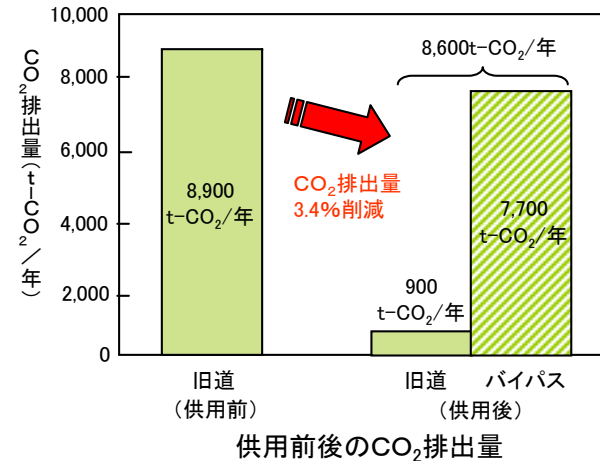
### 口国道2号花岡拡幅

一般国道2号花岡拡幅のバイパス部分(2.4km)の供用により、旧道部の交通量の約9割が走行性の高いバイパスへ転換しました。また、旅行速度は、供用前の旧道区間40.0km/hに対し、供用後のバイパス区間51.8km/hとなり、11.8km/h向上しました。

その結果、バイパス整備区間の年間のCO<sub>2</sub>排出量は、8,900t-CO<sub>2</sub>から8,600t-CO<sub>2</sub>へ、約300t-CO<sub>2</sub>(約3.4%)削減されました。これは、東京ドーム6個分の森林の年間CO<sub>2</sub>吸収量に相当します。



供用前後の交通量と旅行速度(平日)



供用前後のCO<sub>2</sub>排出量

# ■人と自然を大切にするみちづくり

交通事故が引き起こされる割合は？

## 事故率

[事故率=事故件数/自動車走行台キロ]

交通量及び延長(自動車走行台キロ)に対する事故件数。

H16目標値

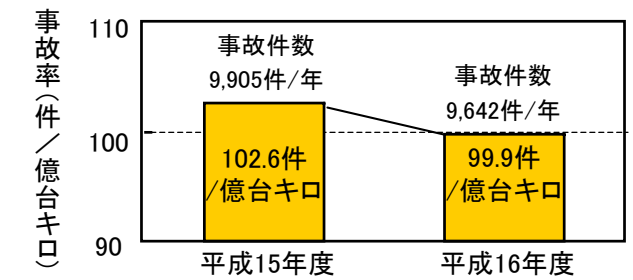
削減に努める

H16実績値

**99.9**  
件/億台キロ  
(達成)

平成16年度の目標達成状況

山口県内の事故率は、平成15年度の102.6件/億台キロから99.9件/億台キロへ減少しました。また、県内の事故件数は、平成15年度の9,905件/年から平成16年度は9,642件/年に減少しています。



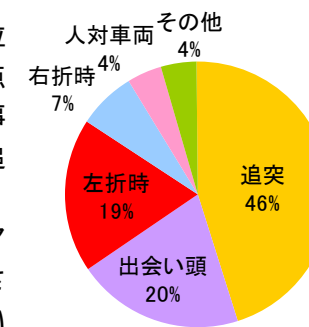
事故率の推移

平成16年度主な事業

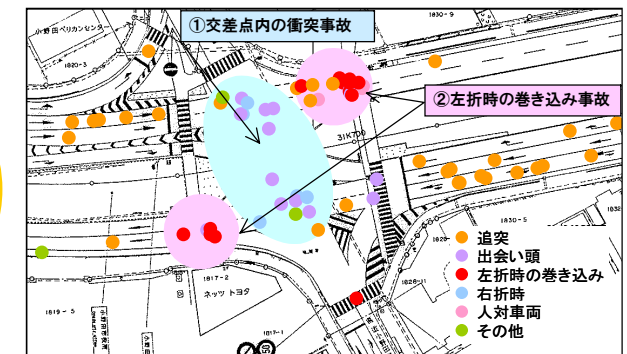
### 口国道190号新生町交差点改良

#### (1)対策前の状況

山陽小野田市の中心市街地に位置する国道190号新生町交差点は、自転車・二輪車の巻き込み事故や右折車と直進車の衝突及び追突事故などが多発していました。このため、あんしん歩行エリア及び事故危険箇所の両方に指定され、早急な対策が必要とされていました。



事故類型(H8~H15)

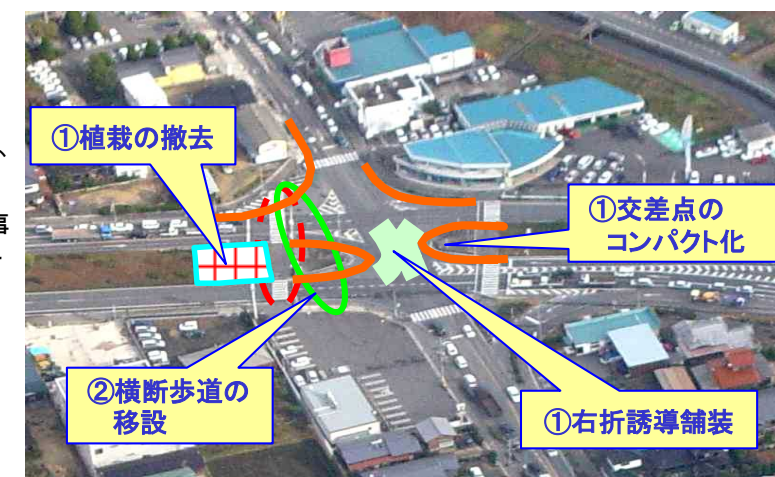
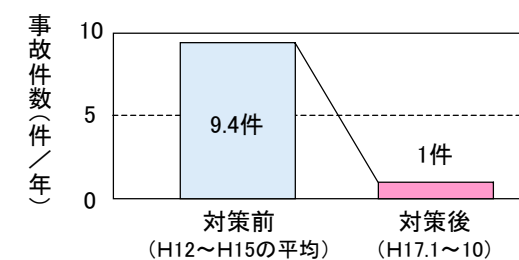


事故発生位置(H8~H15)

#### (2)対策の概要と効果

今回の交差点改良では、交差点内における右折車と直進車の衝突事故等の対策として、交差点をコンパクトにし、右折誘導舗装を敷設し、視距改良のために植栽を撤去しました。左折時の巻き込み対策として、横断歩道を移設しました。

これにより、過去5年間で平均9.4件発生していた事故が、平成17年は10月までに1件の発生に留まっています。



対策内容

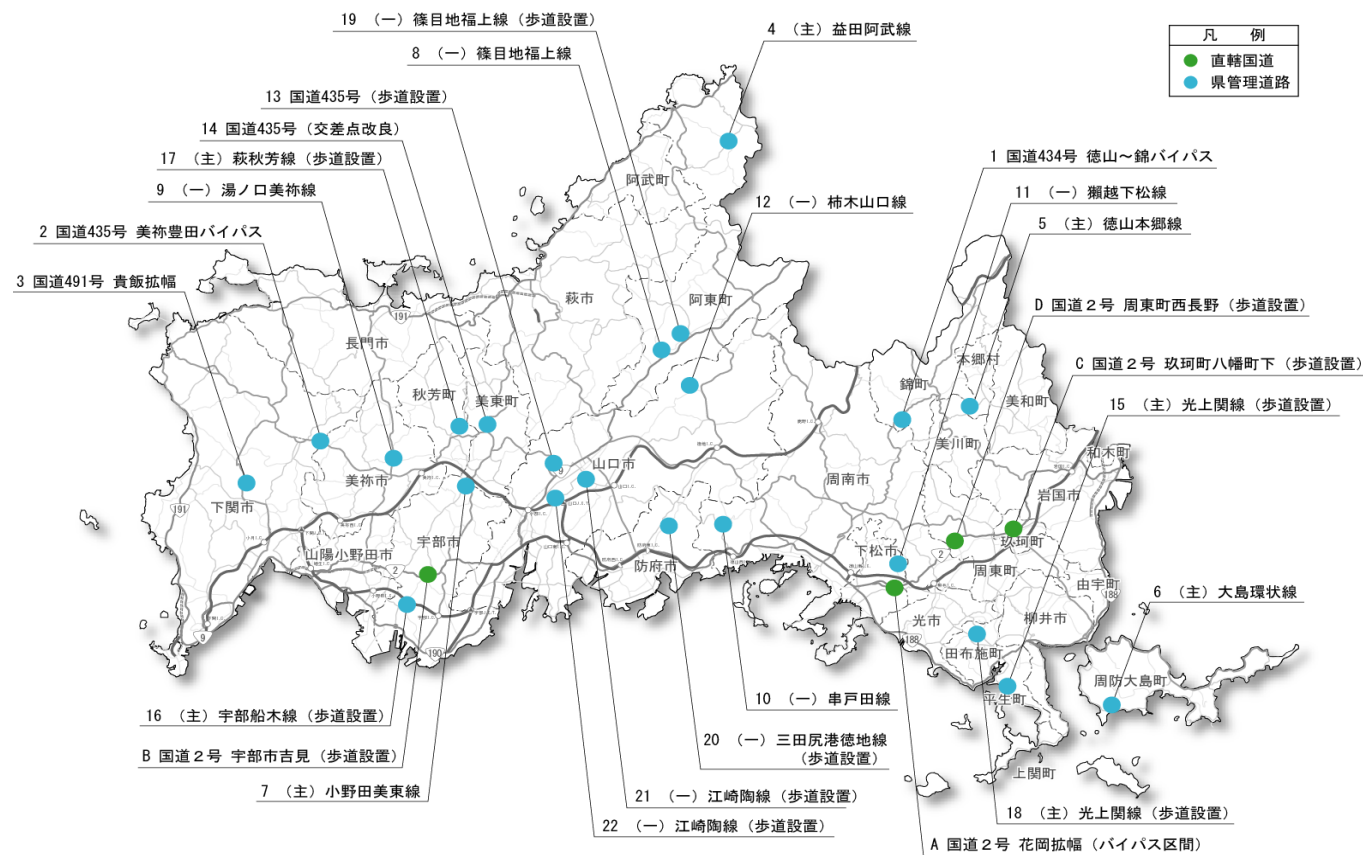
平成16年度の主な実施事業

■直轄国道

No.	路線名	箇所名	計画延長 (m)	H16供用延長 (m)
A	一般国道2号花岡拡幅	周南市峠～下松市南花岡	7,100	2,400
B	一般国道2号宇部市吉見(歩道設置)	宇部市吉見	657	657
C	一般国道2号玖珂町八幡町下(歩道設置)	玖珂町八幡町下	125	125
D	一般国道2号周東町西長野(歩道設置)	周東町西長野	60	60

■県管理道路

No.	路線名	箇所名	計画延長 (m)	H16供用延長 (m)
1	一般国道434号 徳山～錦バイパス	周南市須万～錦町広瀬	11,600	2,700
2	一般国道435号 美祢豊田バイパス	下関市豊田町殿敷～八道	5,400	1,640
3	一般国道491号 貴飯拡幅	下関市菊川町貴飯	2,500	400
4	(主)益田阿武線	萩市三明	800	340
5	(主)徳山本郷線	美川町小壁～本郷村波野	1,000	300
6	(主)大島環状線	周防大島町日見	400	400
7	(主)小野田美東線	宇部市今小野～小野	200	200
8	(一)篠目地福上線	阿東町大野	1,300	1,300
9	(一)湯ノ口美祢線	美祢市曾根～大嶺	2,300	600
10	(一)串戸田線	周南市打木野	440	440
11	(一)獺越下松線	下松市切山	340	340
12	(一)柿木山口線	徳地町柚木	800	150
13	一般国道435号(歩道設置)	山口市吉敷	715	715
14	一般国道435号(交差点改良)	美東町大田	160	160
15	(主)光上関線(歩道設置)	平生町丸山	580	580
16	(主)宇部船木線(歩道設置)	宇部市大森	473	473
17	(主)萩秋芳線(歩道設置)	秋芳町秋吉	400	400
18	(主)光上関線(歩道設置)	田布施町城南	700	660
19	(一)篠目地福上線(歩道設置)	阿東町曾根	700	600
20	(一)三田尻港徳地線(歩道設置)	防府市真尾	1,900	1,900
21	(一)江崎陶線(歩道設置)	山口市陶	285	285
22	(一)江崎陶線(歩道設置)	小郡町下郷	126	126



平成16年度実施事業位置図